



医療安全管理部

メタデータ	言語: Japanese 出版者: 福島県立医科大学附属学術情報センター 公開日: 2019-04-25 キーワード (Ja): キーワード (En): 作成者: メールアドレス: 所属:
URL	https://fmu.repo.nii.ac.jp/records/2000820

医療安全管理部

論 文

〔原 著〕

Suzuki M, Matsuzuka T, Ikeda M, Nakaegawa Y, Kobayashi T, Kawase T, Kobari T, Muroso S. Spontaneous regression of chemotherapy-resistant metastases from a scalp angiosarcoma. *Fukushima Journal of Medical Science*. 2017; 63(2):106-111.

Ouchi K, Hakozaki M, Kikuchi S, Yabuki S, Konno S. Osteochondroma of the Tibial Sesamoid: A Case Report and Review of the Literature. *Journal of Foot & Ankle Surgery*. 201705; 56(3):628-631.

Niki H, Haraguchi N, Aoki T, Ikezawa H, Ouchi K, Okuda R, Kakihana M, Shima H, Suda Y, Takao M, Tanaka Y, Watanabe K, Tatsunami S. Responsiveness of the Self-Administered Foot Evaluation Questionnaire (SAFE-Q) in patients with hallux valgus. *Journal of Orthopaedic Science*. 201707; 22(4):737-742.

Suzuki S, Midorikawa S, Matsuzuka T, Fukushima T, Ito Y, Shimura H, Takahashi H, Ohira T, Ohtsuru A, Abe M, Suzuki S, Yamashita S. Prevalence and Characterization of Thyroid Hemiagenesis in Japan: The Fukushima Health Management Survey. *Thyroid*. 201708; 27(8):1011-1016.

阿部真典, 菊地義浩, 大内一夫, 川原田圭, 阿部 薫. 中学生の足型計測 (第1報) 浮き趾に着目して. *靴の医学*. 201703; 30(2):127-132.

松塚 崇, 鈴木政博, 仲江川雄太, 小林徹郎, 川瀬友貴, 室野重之. 早期口腔癌における頸部の取扱い. *頭頸部癌*. 2017; 43(3):328-332.

〔総説等〕

多田靖宏, 鈴木俊彦, 仲江川雄太, 池田雅一, 西條 聡, 谷垂希子, 鈴木政博, 松塚 崇, 大森孝一. 福島県立医科大学における喉頭癌症例. *耳鼻咽喉科展望*. 2017; 60(補 1):28-29.

池田雅一, 松塚 崇, 鈴木政博, 西條 聡, 仲江川雄太, 大森孝一. 福島県立医科大学における舌癌症例の治療成績. *耳鼻咽喉科展望*. 2017; 60(補 1):54-55.

鈴木政博, 松塚 崇. <頭頸部癌学—診断と治療の最新研究動向—>VII. 頭頸部癌の検査・診断: 各論 センチネルリンパ節生検. *日本臨牀*. 201702; 75(増 2):278-281.

著 書・ 記 書

Ohtsuru A, Midorikawa S, Suzuki S, Shimura H, Matsuzuka T, Yamashita S. Chapter 14 Five-Year Interim Report of Thyroid Ultrasound Examinations in the Fukushima Health Management Survey. In: Yamashita S, Thomas G, editors. Thyroid Cancer and Nuclear Accidents: Long-Term Aftereffects of Chernobyl and Fukushima. London, United Kingdom: Academic Press; 201703. p.145-153.

研究発表等

鈴木政博, 松塚 崇, 池田雅一, 仲江川雄太, 小林徹郎, 川瀬友貴, 室野重之. 耳下腺腫瘍に対する固定法別による術前細胞診と術中迅速病理組織診の精度比較. 第 27 回日本頭頸部外科学会; 20170202-03; 東京. 予稿集. 210.

松塚 崇, 鈴木政博, 池田雅一, 仲江川雄太, 小林徹郎, 川瀬友貴, 室野重之. 唾液腺腫瘍に対するエラストグラフィにおける VTQ と VTIQ での硬さの乖離についての考察. 第 27 回日本頭頸部外科学会; 20170202-03; 東京. 予稿集. 210.

池田雅一, 川瀬友貴, 小林徹郎, 仲江川雄太, 鈴木政博, 多田靖宏, 松塚 崇, 室野重之. 当院における頭頸部表在癌の手術治療. 第 126 回日本耳鼻咽喉科学会福島県地方部会学術講演会; 20170326; 福島. 抄録. 2.

清水雅子, 松見文晶, 橋本千織, 鶴岡美果, 松塚 崇, 室野重之. キセノン光星状神経節近傍照射療法による耳鳴検査および内耳機能検査の変化. 第 118 回日本耳鼻咽喉科学会; 20170518-20; 広島. 日本耳鼻咽喉科学会会報. 120(4):631.

仲江川雄太, 松塚 崇, 小針健大, 川瀬友貴, 小林徹郎, 池田雅一, 鈴木政博, 室野重之. 当科における下咽頭がんの治療成績と導入化学療法の有用性について. 第 41 回日本頭頸部癌学会; 20170608-09; 京都. 頭頸部癌. 43(2):272.

橋本千織, 仲江川雄太, 小針健大, 川瀬友貴, 小林徹郎, 鈴木政博, 松塚 崇, 室野重之. Laryngotracheal Flap による下咽頭癌切除後再建. 第 65 回日本耳鼻咽喉科学会東北地方部会連合学術講演会; 20170722-23; 秋田. 抄録集. 39.

小林徹郎, 松塚 崇, 鈴木政博, 仲江川雄太, 川瀬友貴, 鈴木康士, 室野重之. 福島県立医科大学における口腔癌 (舌以外) 症例の治療成績. 第 23 回北日本頭頸部癌治療研究会; 20171014; 仙台. 抄録集. 6.

松塚 崇, 清田尚臣, 水澤純基, 秋元哲夫, 長谷川泰久, 岩江信法, 門田伸也, 松浦一登, 小野澤祐輔, 本間明宏, 藤井博文, 福田治彦, 林 隆一, 田原 信. 根治切除不能な頭頸部扁平上皮癌における がん悪液質と予後の検討 (JCOG0706 副次的解析). 第 55 回日本癌治療学会学術集会; 20171020-22; 横浜.

松塚 崇, 室野重之. 嗄声や側頸部腫瘍の訴えのある甲状腺乳頭癌は予後に影響する. 第 50 回日本甲状腺外科学

会学術集会;20171026-27; 福島.

垣野内景, 小野美穂, 黒田令子, 松塚 崇, 室野重之. 当院における異物症例の検討. 第128回日本耳鼻咽喉科学会福島県地方部会学術講演会;20171126; 福島. 抄録. 4.

橋本千織, 松塚 崇, 鈴木政博, 仲江川雄太, 小林徹郎, 川瀬友貴, 鈴木俊彦, 室野重之. 症状の有無で比較した甲状腺乳頭癌の予後についての検討. 第128回日本耳鼻咽喉科学会福島県地方部会学術講演会;20171126; 福島. 抄録. 4.

〔シンポジウム〕

松塚 崇. <シンポジウム4 口腔癌に対する治療の最適化>早期口腔癌の頸部の取り扱い. 第41回日本頭頸部癌学会;20170608-09; 京都. 頭頸部癌. 43(2):126.

松塚 崇, 上村裕和, 吉本世一, 三浦弘規, 塩谷彰浩, 菅澤 正, 本間明宏, 横山順吉, 塚原清彰, 吉崎智一, 矢田部恭, 小針健大, 小須田茂, 室野重之, 長谷川泰久. <シンポジウム2 各臓器のSNNS:工夫と取り組み>口腔癌に対するセンチネルリンパ節ナビゲーション頸部郭清術における微小転移の定義の試み. 第19回SNNS研究会学術集会;20171110-11; 東京.

〔特別講演〕

松塚 崇. 頭頸部癌における頸部の取扱いー頸部郭清術とセンチネルリンパ節生検の手技ー. 第31回近畿耳鼻咽喉科手術手技研究会;20170128; 大阪.

松塚 崇. みなさんは「緩和ケア」を受けていますか? 吉田富三記念館講演会「がん征王の今」;20171010; 福島.

〔招待講演〕

松塚 崇. コミュニケーション・ワークショップ. 第2回緩和ケア研修会 in 福島医大 2016;20170212; 福島.

松塚 崇. 振り返りとポストテスト. 第2回緩和ケア研修会 in 福島医大 2016;20170212; 福島.

松塚 崇. 耳鼻科の最新の話題. 公立相馬総合病院 臨床研修委員会勉強会;20170630; 相馬.

松塚 崇. <講演>オピオイドを開始するとき. 太田西ノ内病院平成29年度がん診療医師緩和ケア研修会;20171202; 郡山.